

インターネットを利用して売上が上がるヒントをお届け！



[もうちょい上]は株式会社アイサポートが発行する、木村及び弊社スタッフと名刺交換させていただいた企業の担当者様及び、三条商工会議所に入会されている企業様に無料で定期的にお届けするニュースレターです。

 株式会社アイサポート 新潟県三条市須頃1丁目55  
TEL 0256-33-5085 FAX 0256-46-0797

<https://www.is1.co.jp/>  
豊富な実績はこちらから検索

## パスワード管理はもう大丈夫？ Google パスワードマネージャーでセキュリティ 強化！

近年、様々なサービスが電子化され、IDとパスワードの管理がますます複雑化しています。

以前はパスワード管理ソフト「KeePass」を利用していましたが、近年はインターネット上のログイン情報に関しては、Googleのパスワードマネージャーを利用しています。

そこで今回は、Googleパスワードマネージャーのメリットデメリットなどについてご紹介します。



### メリット

#### ① マスターパスワードのみを記憶すればOK！

Googleアカウントのパスワードさえ覚えておけば、他のパスワードは全てパスワードマネージャーが自動で記憶してくれます。複雑なパスワードを複数覚える必要がなくなり、利便性が大幅に向上します。

#### ② 強力なパスワードの自動生成

ランダムな文字列を組み合わせた、推測困難なパスワードを自動生成してくれるので、セキュリティを強化できます。

#### ③ 自動ログイン

一度登録したパスワード情報に基づいて、各サイトへのログインを自動化できます。ログインの手間が省け、作業効率がアップします。

#### ④ 複数のデバイスで同期可能

パソコン、スマートフォン、タブレットなど、様々なデバイス間でパスワード情報を同期できます。場所を問わず、いつでもどこでも必要なパスワードを利用できます。

### デメリット

#### ① マスターパスワードの漏洩リスク

マスターパスワードが漏洩してしまうと、全てのパスワード情報が危険にさらされます。強固なパスワードを設定し、厳重に管理することが重要です。

#### ② Googleアカウントへの依存

Googleアカウントにログインできない状態になると、パスワード情報にアクセスできなくなります。万が一に備え、緊急時の連絡先などを設定しておくことをおすすめします。

#### ③ すべてのサイトに対応しているわけではない

一部のサイトでは、パスワードマネージャーによる自動ログインが対応していない場合があります。

これまで、パスワードを紙やノートにメモ帳代わりに保存していた方も多いのではないのでしょうか？

しかしアナログで保存することは、紛失や盗難のリスクが高く、情報漏洩に繋がる可能性も否定できません。

現在では、様々なパスワード管理ツールが提供されています。

今回ご紹介したGoogleパスワードマネージャー以外にも、多くの選択肢がありますので、ご自身のニーズに合ったツールを選んで、安全かつ効率的なパスワード管理を実現しましょう。

パスワード管理を徹底し、定期的に変更することは情報漏洩対策の基本です。今回ご紹介した内容を参考に、ぜひご自身の情報セキュリティを強化してください。

情報セキュリティに関するご相談は、弊社までお気軽にお問い合わせください。

お電話は **0256-33-5085** 木村まで！

